

8 小中学校における不登校児童・生徒への支援の在り方

～多様で適切な支援を探る～

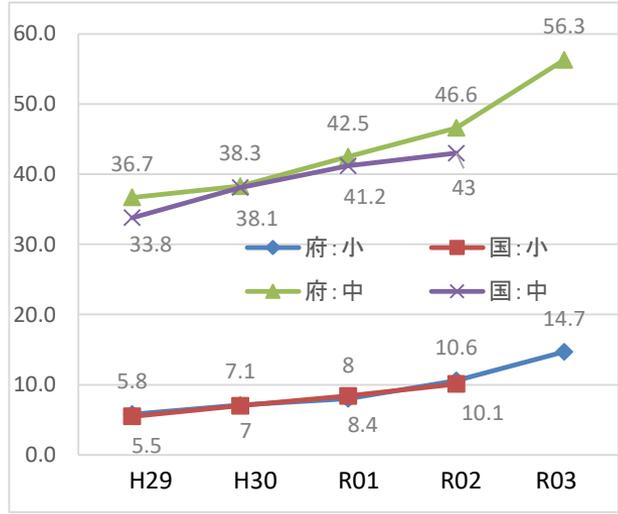
大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課生徒指導グループ

不登校児童・生徒への有効な支援や取り組みを探ります！

大阪府の不登校児童・生徒数は全国同様、年々増加し、その要因・背景や支援ニーズは多岐に渡る傾向にあります。

本分科会では、小中学校における不登校児童・生徒への多様で適切なアプローチや支援等について、共有化を図ることをねらいとしています。

教育支援センター（適応指導教室）における取り組みの実践発表、不登校支援に携わる専門家の講義から、これからの不登校支援について、学校のヒントとなる取り組みをお伝えします。



実践発表

不登校対策ワーキング委員会より

大阪府では不登校状態及び不登校の兆しのある児童・生徒への、効果的な支援の在り方や取り組みについて研究する「不登校対策ワーキング委員会」を設置しています。そこで取り組んできた、【学校内の居場所づくりの在り方】や【民間団体等の連携による多様な支援の在り方】などの研究成果や取り組みについて実践発表します。

講義

スクールソーシャルワーカースーパーバイザーより

国調査では、不登校児童・生徒のうち、約4割が学校内外の相談・指導につながっていないという結果が出ています。「つながる」ことが、子どもたちにとって有効な支援であるために、ソーシャルワーク的な観点から、学校ができること、すべきことについて、その方法やポイントを明らかにしていきます。

多種多様な関係機関との連携

